

つくる健康



京都医療生協

第193号 2019年(令和元年)10月15日
発行所/ 京都医療生活協同組合
京都市中京区聚楽廻東町2番地
視力センタービル地階
☎075(822)2286 FAX075(822)6133
発行責任者/ 宮本 和明

京都医療生協・中野眼科

組織強化月間にあたって

中野眼科を開設している京都医療生活協同組合では、十月～十一月を中心に組織強化月間に取り組みます。これはわが国で「生協法」が施行された一九四八年(昭和二十三年)十月一日を記念した全国的運動の一環です。強化月間では、組合員

眼科の進歩

～眼底疾患診断機器・光干渉断層計について～

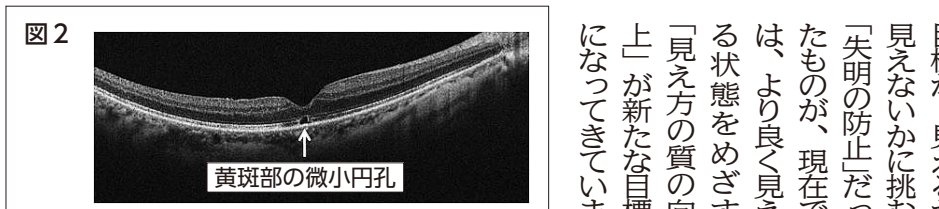
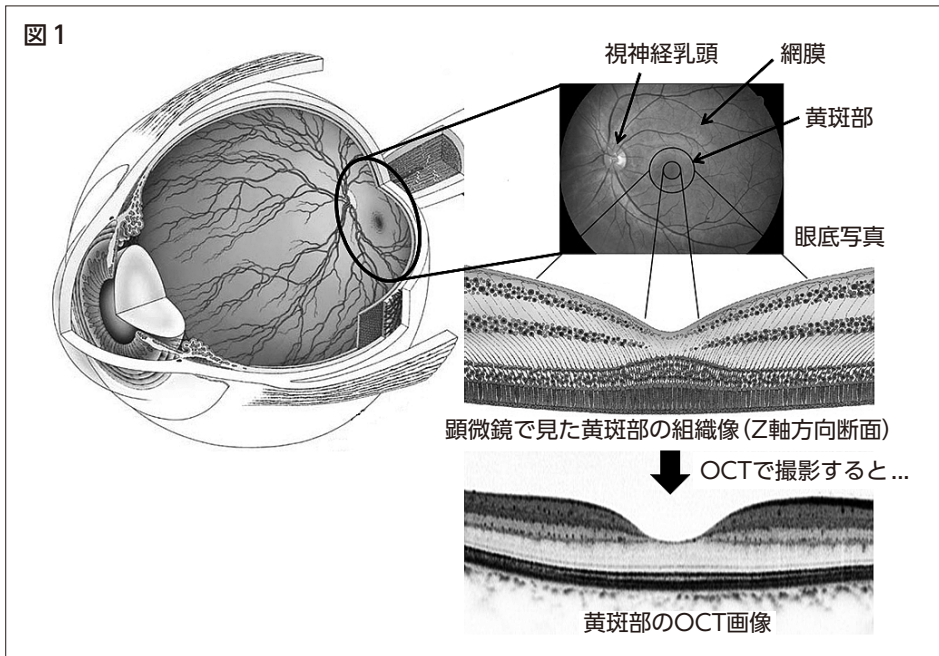


京都医療生協理事長
中野眼科本 院長
宮本 和明

宮本 和明

は、このOCTが開発されるまでは、平面的(二次元)にしか観察できませんでした(図1)。このOCTの登場によって、眼底にある網膜(目を力メラに例えるとフィルムに相当)の断面をZ軸方向に画像化できるようになり、眼底を三次元的に観察できるようになりました。開発当初は、網膜が厚いか薄いかわかる程度にしか評価できなかったのですが、技術はさらに進歩し、現在では、あたかも組織を抽出して、顕微鏡で直接見ているかのごとく、網膜を観察することができるようになりました(図1、黄斑

医学の進歩は目覚ましく、眼科学の領域も多分に漏れません。私は、医師となって三十年が経とうとしています。医師に成り立ての頃に比べ、病気の診断技術と治療法の進歩には、隔世の感があります。診断技術の進歩には、見えない部位を可視化するイメージング技術の発展が欠かせませんが、眼科領域では、光干渉断層計(optical coherence tomography: OCT)と診断機器が開発され、眼底疾患の診断に革命をもたらされました。眼底(目の奥底)



部とは網膜の中心に位置し、視力を司る重要な部分。網膜という組織は、細胞が層をなして形作られていますが、図1のように、その層構造がOCTによってはつきりと写し出されています。図2は、黄斑部のさらに中心窩と呼ばれる部分の視細胞層にできた小さな穴(微小円孔)が、見えるか見えないかに挑む「失明の防止」だったものが、現在では、より良く見える状態をめざす「見え方の質の向上」が新たな目標になってきています。

診断技術の進歩は、病気の早期発見につながり、病状のごく初期の段階から治療が始められることとなります。これにより、過去の眼科診療の目標が、見えるか見えないかに挑む「失明の防止」だったものが、現在では、より良く見える状態をめざす「見え方の質の向上」が新たな目標になってきています。

今年度は、中野眼科医の新しいスタートにふさわしく、京都大学より藤本雅大医師を副院長に迎え、新しい診療体制で臨んでいます。従来から

「ご住所変更をお届けください！」
京都医療生活協同組合組合員の皆様へのごお願い
ご住所を変更された場合には、速やかに医療生協事務所まで「一報ください」をお願いします。
医療生協事務局 ☎075・833・2286

の口帰り白内障手術に加え、眼瞼下垂(まぶたが下がる疾患)などのまぶたの病気が涙が鼻に流れる通り道が詰まって起きる流涙症(なみだ目)などの涙道疾患の治療も積極的に進んでいます。
「コンタクトレンズなら中野眼科」と言われるぐらい、当院のコンタクトレンズ診療には歴史も実績もあります。優秀なスタッフが、確かな安心と信頼の技術で、視機能

ある調査によると五十歳以上の人の健康に関する心配事に、「ものが見えにくい、目がかすむ」(四〇%)、「耳が遠い」(二〇%)、「歯が無く(二〇%)」、「歯が無く(二〇%)」(二〇%)、
「目」は一分でよくなる(今野清志著)は二十万部売れている。府内の医師数は眼科三百二十七人、耳鼻咽喉科二百七十一人、歯科一千九百一十一人。健康において目がいかに重要であり、いかに切実なのかが分かる。医療生協の看板である「利用しやすく信頼される眼科をめざす」に、言葉以上の大きなミッションを感じる所だろう。団体にしては鳥、虫、魚の三つの目が大事。通常総代会を終えて四ヵ月。今もとも求められているのが、流れをつかむ魚の目。その目をさらに、内だけでなく外にしっかりと向けた。そこには、目に不安を持ち、医療生協、ナカノ眼科を待っている人たちが大勢いる。忘れてはならない。(川久保雄 郎)

生協規制の強化

組織停滞、そして中野眼科の発展へ

一九五八年(昭和三十三年)十二月に国民健康保険法が施行され、一九六一年(昭和三十六年)四月に国民皆保険が実現しました。これによりすべての国民の保険料納入が義務化されること

で医療費給付制度がスタートし、国の補助と保険診療報酬の低さ、不況

「いつまでも見える楽しみのために」

第73回日本臨床眼科学会

市民公開講座のお知らせ

開催日時：二〇一九年十月二十七日(日)

十四時～十六時(開場十三時三十分)

開催会場：国立京都国際会館・メインホール

- プログラム：
 - ①眼底疾患の最新治療 (演者/林 篤志)
 - ②眼からアンチエイジング (演者/緒方奈保子)

京都大学生協との事業連携について

医療生協・中野眼科では、前年度に引き続き京都大学生協学生委員会

「百まで生きよう会」



「百まで生きよう会」は中野信夫先生の提唱で一九九〇(平成二年)に発足した高齢者サークルです。例会として①百遊会(楽しいお食事の会)②花と杜若めぐりの会③俳句の会④囲碁の会⑤歴史を歩く会などを行っています。



診療所のある街角で①①
【姉小路寺町東入】

朝日会館診療所の西向いに、河原町から寺町へ抜ける姉小路通があります。天性寺の土堀沿いのこの小路にしゃがんでスケッチしていると、人々の行き交う繁華街の喧噪から遥か離れた別世界のように思えるのが楽しいです。(大森俊次)

百まで生きよう会 茶話会を開催

八月二十三日(金)、午後一時三十分より、京都医療生協/千丸ホールにて、「百まで生きよう会」茶話会が開催され、例会での思い出話や日頃の暮らしを交流する中で、こ

れからの会運営のことなども楽しく話し合われました。また百歳を迎えられる最高齢の方を参加者一同でお祝いしました。

詳しくは医療生協内「百まで生きよう会」事務局までお気軽にお問い合わせください(☎〇七五・八一・七九七九)。



映画「新聞記者」が多くの夏、評判を呼びました。女性記者が医療系大学の施設に絡む間に挑む、日本では珍しいタイプの映画です。

南 彰 著 『報道事変』

著者は朝日新聞記者。新聞労連の委員長も務め、長年、政治取材に関わっています。サブタイトルの「なぜ記者を覚えている人はこの国では自由に質問

できるのか」といふ問いに、著者は「答えは、メディアの政治取材現場、記者会見の具体的なやり取りなどをあ

第33回日本高齢者大会 in 福島へ 代表者を派遣しました

京都医療生協では例年、今年度、第三十三回を

中野眼科 一斉休診のお知らせ

今年度の年末年始は、所々、十月三十日(月)から一月四日(土)まで

受付時間変更のお知らせ

10月19日(土)は京都医療生協・中野眼科創立記念会開催のため、全診療所で受付時間が午後5時までとなりますので、皆様のご協力をどうぞよろしくお願いいたします。

臨時休診のお知らせ

10月22日(火)「即位礼正殿の儀」による祝日のため、中野眼科本院、四条分院は休診となります。駅前診療所は診療を行っています。

保険で良い医療を

「かかりつけ医」登録制は、患者の複数医療機関への受診を減らし、結果的に患者のフリーアクセスを制限する危険性をはらんでいると言われている。